

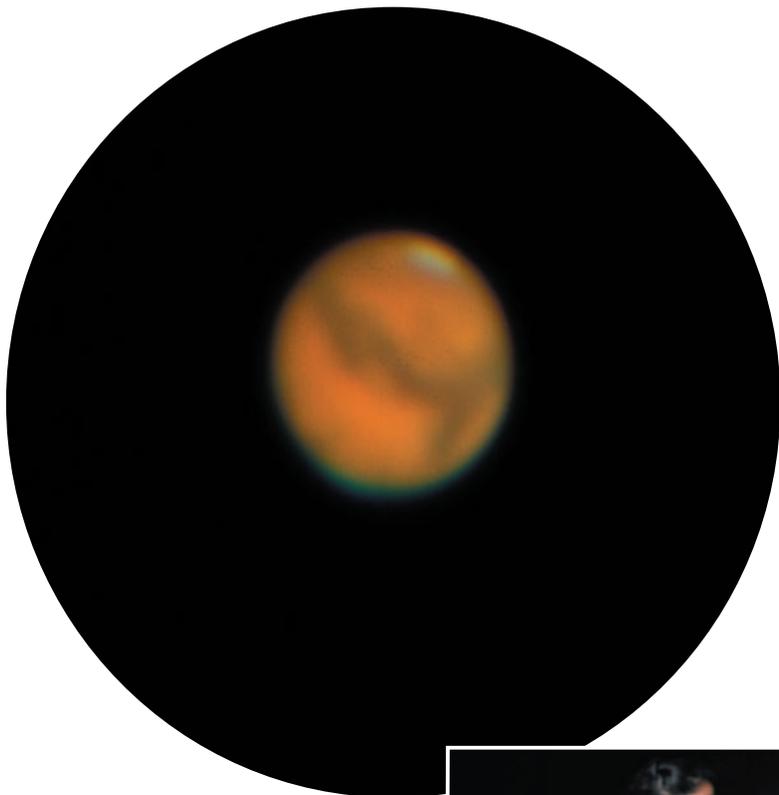


あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2003. 9月号

火星が良く見えます



8月22日に撮影した火星

今月、火星が南の空に輝いています。8月27日に地球に最接近し、話題になりましたが、これから10月にかけて宵の口に高くなり、見やすい位置にやってきます。最接近のときよりやや小さくなりますが、高度を増す分安定して見えるようになります。これからが火星本番、というところですので、ぜひ、望遠鏡で火星の観察をしてみてください。

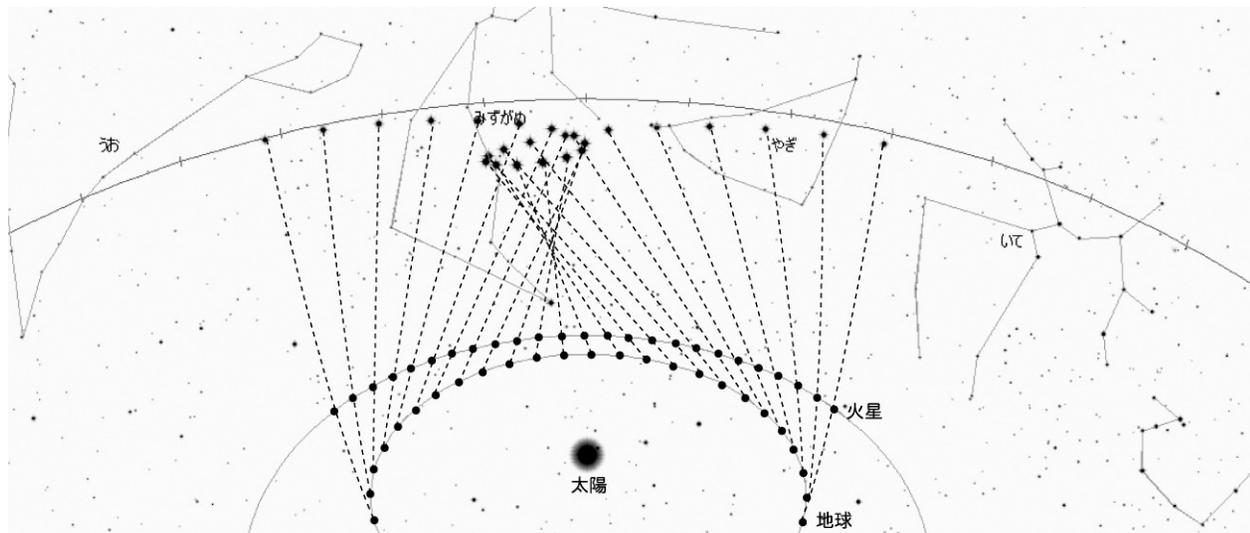
博物館では、9月中、下記の日程で火星を見る会を催します。



9月の火星を見る会

- ・9月5日（金）12日（金）26日（金）
- ・19時～21時に博物館屋上で行います。
- ・参加自由　ただし曇、雨天のときは中止します。

火星、大接近中！



火星は2年2ヶ月に一度地球に接近します。接近というと火星が地球に近づいてくる、という印象ですが、地球が火星に近づくと行ったほうが適当です。地球と火星の軌道を見ると、地球は内側の軌道を、一方火星は外側を動いています。インコースの地球のほうが足が速いものですから、火星を追い抜くことになります。そして、追い越す瞬間が火星と地球の距離がもっとも近づくことになります。ただし、火星をどこで追い越すかによって、その接近距離が変わるのです。火星が太陽から遠い位置（遠日点）で地球と接近すると、その距離は約1億km、一方、太陽に近い位置（近日点）で接近すると、その距離は約5600万kmと、4400万kmも近くなります。近日点近くで接近する時が大接近、反対を小接近と呼びます。今回の接近は大接近の中でもとりわけ近づきます。

最接近は8月27日ですが、その前後2ヶ月くらいは明るく輝きます。

火星は地球から見ると、黄道上を移動して行きますが、ちょうどみずがめ座の中に見られます。火星は27日を中心にしてみずがめ座の中でループを描くような動きをして見えます。このようなほかの星にはない動きから、惑星（遊星）と呼ばれているのです。

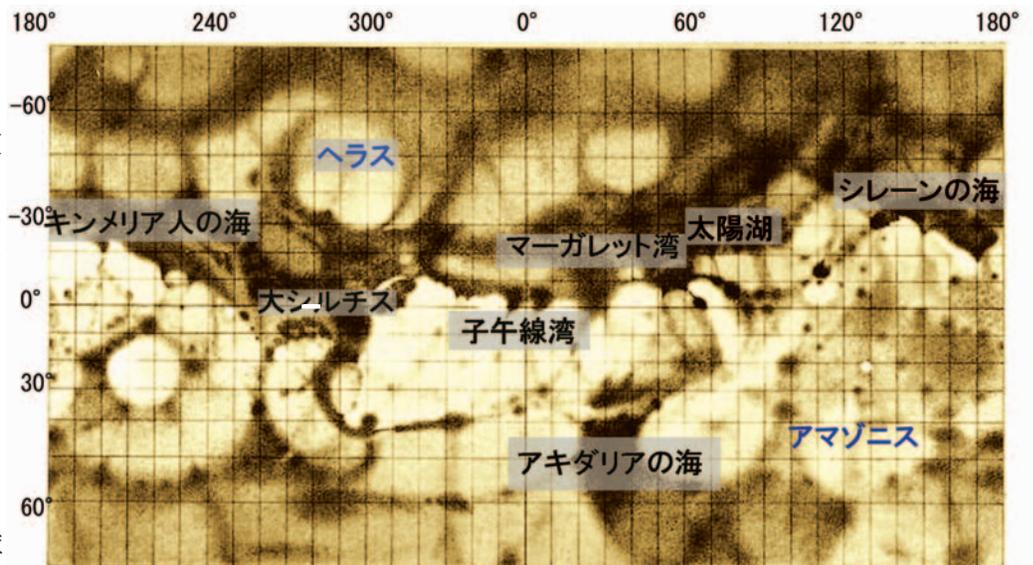
火星を望遠鏡で見ると、白く輝

く極冠（南極）とオレンジ色の表面に黒っぽい模様が見えます。極冠が白いのは、雪や氷があることを連想させます。そして、火星には地球と同じように四季がみられるのですが、極冠は季節に応じて拡大と縮小を繰り返します。

黒っぽい模様には、それぞれ地名が名づけられています。有名な地形はシルチスと呼ぶ三角形に見える模様です。シルチスの近くに見えるヘラスとよばれる丸い明るくみえる模様とともに火星の中では最もわかりやすい模様です。

こうした模様は火星の自転と共に移り変わるので、いつでも見られるわけではありません。模様の位置は火星面の経度でわかります。シルチスは270度から290度、ヘラスは300度の経度です。

火星の中央の経度が今、何度くらいかを知っておくと、どんな地形が見えるか、がわかります。



プラネタリウム「火星を見よう」

8月末に火星が大接近しました。今回の接近は、まれに見る大接近、として話題になりましたが、9月中でも火星はまだまだ明るく、地球との距離も最接近の時と比べて急には遠ざかることはありません。

星空の中にかぶ火星の動きや、望遠鏡で見る火星の模様の見え方、極冠の変化などをお話します。

また、最新の火星の地形、気象など、探査機が集めたいろいろな火星のことを、たくさんの映像を交えて解説します。

投影日：土・日曜日の11時と14時／9月13日（土）～10月26日（日）まで

平塚市が東海大学との連携の一環として受け入れているインターンシップとして、7月31日から8月7日までの5日間、博物館で1名が職場体験をしていきました。その感想を紹介します。

私は今回、博物館で職業体験をさせて頂いたわけですが、博物館での仕事というのは私が考えていた以上に多種にわたっていました。外へ出て調査に行ったり、川へ行ったりした経験は私にとってよい経験であったとともに、



夏休みのよい思い出になりました。博物館での仕事でお客さんとふれあう機会は少なかったのですが、夏休みということもあり、とてもにぎわっていました。こういった形での市民サービスに興味を持ち、この平塚市博物館を希望したわけですが、行事などに参加し、とてもよい施設であると感じました。短い間でしたがお世話になった職員の方々、面倒をみてくださった浜口学芸員、ありがとうございました。今後もこういった機会や、博物館での市民参加行事には参加していきたいと思いました。

(東海大学3年 清水啓太)

●夏休み企画 博物館ぶたいうら探検ツアーが行われました

ふだんみられない博物館の舞台裏(ぶたいうら)を学芸員が案内し、博物館にはこんな物があるんだ、学芸員ってこんな仕事をしてるんだ、など、いろいろな発見がありました。

8月の金曜日の午後、1日から22日まで4日間行われ、大人18人、子供28人の参加がありました。

参加者のかたの感想から

8/15 参加者：関みゆきさん

私が小学生の頃に博物館ができました。当時、友だちとよく来たことを覚えています。何気なく表から見ていた展示品でしたが、いろいろと気づかいがされていることに、今さらながら気づかされ、おどろいています。楽しい2時間でした。ありがとうございました。

8/22 参加者：杉山ゆうや君

* 昔は、自分で、写真を作っていてとはじめて、した。ぼくも、じぶんで作ってみたいな。

* へびのぬけがらがあるなんて、しらなかった。自分で、見つけてみたいな。

* 昔の、ラジオは、とっても大きかった。80cmぐらいかな。今とは、大ちがいった。

* テレビは、とても小さかった。30cmぐらいだった。今は、110cmぐらいだと思う。80cmもちがう。

* こん虫の、死んでいるものを集めているのがいっぱいあった。1つ見せてもらった。いっぱいつまっていた。

* はくぶつかんは、水ではなくて、ガスでけしている。(炭酸ガス消火のこと)



博物館カレンダー

2003年9月の行事

9	3	水	平塚社寺調査会	特研究室
9	4	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
9	5	金	◎ 火星を見る会・天体観察会 古文書講読会	屋上講堂
9	6	土	○ 夏期特別展行事「地学ハイク」	野外
9	7	日	水辺の楽校生きもの調べの会 民俗探訪会「研究発表会」	野外講堂
9	10	水	○ 博物館実習（～9月18日）	館内
9	11	木	湘南コケの会 石仏を調べる会	野外中原
9	12	金	◎ 火星を見る会・天体観察会 古文書講読会	屋上講堂
9	13	土	☆ プラネタリウム「火星を見よう」（～10月26日） ◎ 漂着物を拾う会	プラネ虹ヶ浜
9	14	日	地質調査会	巨摩山地
9	17	水	裏打ちの会	科学室
9	18	木	☆ 寄贈品コーナー「実習生展示」（～10月30日） 展示解説ボランティアの会	展示室特研究室
9	19	金	古文書講読会	講堂
9	20	土	天体観察会 相模川の生き立ちを探る会	屋上箱根町
9	21	日	◎ ろばた話の会	展示室
9	25	木	植物誌調査会 石仏を調べる会	野外中原
9	26	金	◎ 火星を見る会・天体観察会 古文書講読会	屋上講堂
9	27	土	空襲と戦災を記録する会 民具に親しむ会	特研究室科学室
9	28	日	地質調査会 古代遺跡を探す会	科学室野外

☆：展示（無料）・プラネタリウム（観覧料）○：申込制◎：自由参加 無印：年間会員制

<展示とプラネタリウム>

☆寄贈品コーナー「構之内遺跡」展
会 期：8月1日（金）～9月11日（木）

☆夏期特別展「身近な地学ハイキング」
会 期：7月19日（土）～9月15日（月）
会 場：特別展示室

☆プラネタリウム9月の星空と「火星-夢みるシジミ」
投影日：土・日曜日の11時と14時
期間：9月7日（日）まで

☆プラネタリウム9月の星空と「火星を見よう」
投影日：土・日曜日（9月は土・日曜）の11時と14時
期間：9月13日（土）から10月26日（日）まで

<参加者募集>

◎火星を見る会
大接近の火星を望遠鏡で観察します。
期 日：9月5日（金）12日（金）26日（金）
時 間：19時～21時
場 所：博物館科学教室・屋上
参 加：自由 雨天・曇天時は中止

2003年10月の行事

10	1	水	平塚社寺調査会	野外
10	2	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
10	3	金	古文書講読会	講堂
10	4	土	☆ 秋期特別展「火星大接近2003」（～11月30日） 民俗探訪会「豊田八幡宮祭礼」 地質調査会 ◎ 考古学入門講座「相模川流域」	特展室 豊田講堂 科学室
10	5	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野外
10	9	木	湘南コケの会 石仏を調べる会	野外特研究室
10	10	金	◎ 火星を見る会 天体観察会 古文書講読会	屋上講堂
10	11	土	◎ 特別展講演会 天体観察会 ◎ 漂着物を拾う会	プラネ屋上虹ヶ浜
10	12	日	古代遺跡を探す会	野外
10	15	水	裏打ちの会	科学室
10	16	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
10	17	金	◎ 火星コンサート ◎ 火星を見る会 天体観察会 古文書講読会	プラネ屋上講堂
10	18	土	○ 考古学入門講座「相模川流域」 相模川の生き立ちを探る会	講堂湯河原町
10	19	日	◎ ろばた話の会	展示室
10	22	水	○ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
10	23	木	植物誌調査会 石仏を調べる会	野外特研究室
10	24	金	◎ 火星を見る会 天体観察会 古文書講読会	屋上講堂
10	25	土	○ 自然の新聞を作る会 民具に親しむ会 空襲と戦災を記録する会	野外科学室特研究室
10	26	日	地質調査会	清川村
10	31	金	◎ 火星を見る会 天体観察会	屋上

◎漂着物を拾う会
海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日 時：9月13日（土）9時30分～11時
場 所：平塚虹ヶ浜海岸
参 加：自由（ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと）

◎ ろばた話の会
民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
9月21日（日）(1)13時20分～ (2)15時～
場 所：展示室民家
参 加：自由

◎考古学入門講座「相模川流域」
期 日：10月4日、18日、11月8日、22日の各土曜日
時 間：14時～16時
会 場：博物館講堂
参 加：自由

あなたと博物館 29巻 7号 通算322号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>